



公益社団法人隊友会 鹿児島県隊友会

令和5年度定期総会



と き：令和5年5月27日（土）

と ころ：鹿児島サンロイヤルホテル

個人情報保護の観点から、この資料の配布を正会員及び本資料に掲載された以外の個人または団体への配布、複製、貸し出し等の行為を禁止いたします。

総 会 次 第(1300～1430)

- 1 開式の辞
- 2 国歌及び隊友会歌の斉唱
- 3 物故会員に対する黙祷
- 4 表彰 (鹿児島地方協力本部長表彰を含む。)
- 5 会長挨拶
- 6 議長選出
- 7 資格審査(議決権の行使)
- 8 議事
 - 第1号議案 令和4年度事業報告
 - 第2号議案 令和4年度決算報告
 - 第3号議案 令和4年度監査報告
 - 第4号議案 令和5年度事業計画(案)
 - 鹿児島地方協力本部 : 令和5年度募集業務事業説明
 - 国分・川内駐屯地業務隊 : 令和5年度自衛隊家族支援事業説明
 - 第5号議案 令和5年度予算計画(案)
 - 第6号議案 質疑
 - 第7号議案 役員交代報告・新役員紹介
- 9 その他連絡事項
- 10 閉式の辞

防 衛 講 話(1440～1530)

講 師 第1航空群司令

海蔭補 藤原 直哉 様

演 題 「防衛力整備について」

親 会 次 第(1600～1800)

- 1 開宴の言葉
- 2 会長挨拶
- 3 来賓祝辞
- 4 来賓紹介
- 5 祝電披露
- 6 乾杯
- 7 懇親の宴
- 8 万歳三唱
- 9 閉宴の言葉

令和5年度表彰受賞者名簿

1. 鹿児島県隊友会長表彰

(1) 個人の部

ア 薩摩川内支部

小楠 功一 殿

イ 国分支部

堀切 幸一 殿 野崎 雅隆 殿

瀬貫 剛 殿 福森 一信 殿

ウ 瀬戸内支部

林 範文 殿

エ 徳之島支部

藤岡 正隆 殿

(2) 個人の部(自衛官募集協力貢献)

与論支部

野口 高信 殿

2. 隊友会本部会長表彰 (上申中)

(1) 個人の部

ア 鹿児島地区協議会
(中央支部)

増田 克巳 殿

イ 国分支部

恒吉 勝彦 殿

(2) 個人の部 (80歳以上)

鹿児島地区協議会
(南支部)

山中 利雄 殿

鹿児島県隊友会員の令和5年春の叙勲等受章者

栄えある叙勲の受章をお祝い申し上げます。

(賞 賜)	(功労概要)	(氏 名)	(所属支部)
令和5年春の叙勲受章者			
瑞宝小綬章	防衛功労	柴村 ^{しむら} 敬二 ^{けいじ}	伊佐(陸)
第40回危険業務従事者叙勲受章者			
瑞宝双光章	防衛功労	今別府 ^{いまべつぷ} 浩已 ^{ひろみ}	鹿地協(海)
瑞宝双光章	防衛功労	加治原 ^{かじはら} 文浩 ^{ふみひろ}	南さつま(陸)
瑞宝双光章	防衛功労	福井 ^{ふくい} 一郎 ^{いちろう}	直轄・鹿屋市(海)
瑞宝双光章	防衛功労	松元 ^{まつもと} 伸二 ^{しんじ}	国分(陸)
瑞宝双光章	防衛功労	吉倉 ^{よしくら} 隆浩 ^{たかひろ}	隼人(陸)
瑞宝单光章	防衛功労	久木留 ^{くきどめ} 忠文 ^{ただふみ}	樋脇(海)
瑞宝单光章	防衛功労	高江 ^{たかえ} 均 ^{ひとし}	伊集院(陸)
瑞宝单光章	防衛功労	前野 ^{まえの} 昌彦 ^{まさひこ}	隼人(陸)
瑞宝单光章	防衛功労	三窪 ^{みくぼ} 和隆 ^{かずたか}	国分(陸)
瑞宝单光章	防衛功労	森 ^{もり} 義和 ^{よしかず}	瀬戸内(陸)

※ 隊友会員以外の危険業務従事者叙勲受章者は(内閣府HPによる)以下の通りです。

第40回危険業務従事者叙勲受章者

瑞宝双光章(防衛功労)

園田素直(霧島市 陸)、田中克郎(薩摩川内市 空)、田中聡(鹿屋市 海)
林明人(始良市 空)、福元秀樹(曾ぼた於市 海)、福元博久(鹿屋市 海)
穂山実(志布志市 海)、盛恒治(霧島市 陸)、吉岡辰彦(鹿屋市 海)

瑞宝单光章(防衛功労)

今福強(鹿屋市 海)、濱田辰男(鹿屋市 陸)、渡辺正(鹿屋市 海)

令和4年度予備自衛官退官者

令和4年度は、鹿児島県隊友会員13名が予備自衛官の勤務を全うされ任期満了により退職されました。

任期を終え退職された方々に敬意を表し益々のご健勝と隊友会員として更なるご活躍をお祈り致します。

陸自

- 令和4年4月14日付
権山 一孝 様 (薩摩川内支部) 木元 貢 様 (国分支部)
濱畑 養市 様 (隼人支部)
- 令和4年6月14日付
井之上 周平 様 (薩摩川内支部)
- 令和4年7月14日付
井上 純一 様 (隼人支部) 西迫 克巳 様 (国分支部)
- 令和4年8月14日付
吉留 健一 様 (南九州市) 田畑 正司 様 (国分支部)
- 令和4年9月14日付
吉本 徹 様 (国分支部)
- 令和4年11月14日付
鬼塚 俊伸 様 (鹿児島地協)
- 令和4年12月14日付
福留 芳彦 様 (国分支部)
- 令和5年3月14日付
福 和男 様 (国分支部) 安川 忍 様 (湧水町)

歡 迎

令和4年度新入会員名簿

番号	支部等	氏名	機関	番号	支部等	氏名	機関		
1	本部直割	鹿屋(陸空)支部	内和田 不二夫	陸	27	薩摩川内支部	角 涼雅	陸	
2		鹿屋(陸空)支部	下竹 義彦	陸	28		薩摩川内支部	久保 裕作	陸
3		鹿屋(海)支部	有村 博	海	29	国分支部	平田 雄嗣	陸	
4			鹿屋(海)支部	安楽 伸也	海		30	中尾田 清美	陸
5			鹿屋(海)支部	緒方 秀則	海		31	七島 豊	陸
6		祁答院支部	北園 和幸	陸	32		前村 正一	陸	
7		さつま支部	米盛 祥一	陸	33		福永 真一	陸	
8		溝辺支部	福壽 正吾	陸	34		西川 健二	陸	
9		曾於(財部)支部	西山 和洋	陸	35		溜尾 兼宏	陸	
10	鹿児島地区協議会	中央支部	宮城 肇	海	36		福山 朋明	陸	
11			中央支部	高野 良郎	坊		37	三好 祐一	空
12			中央支部	福満 由美子	陸	38	隼人支部	後藤 公也	陸
13			中央支部	瀬尾 泰輝	陸	39		桐野 康幸	陸
14			中央支部	吉田 寛	陸	40		隈原 伸一	陸
15			中央支部	末吉 平興	陸	41		福田 雄一郎	陸
16			中央支部	堂免 宏幸	海	42		多賀 春彦	陸
17			西 支部	守島 健次	陸	43		下竹 義彦	陸
18		西 支部		勝吉 洋	陸	44	始良支部	鬼塚 祐作	陸
19		西 支部		川久保 壽人	陸	45		船附 則夫	陸
20		西 支部		西 一幸	陸	46		和田 弘貴	海
21		西 支部		鶴田 健一	陸	47		脇 元氣	陸
22		南 支部	黒岩 篤	陸	48	中種子支部	徳永 三秀	陸	
23			南 支部	追立 慎二	陸		49	大町田 勇希	陸
24			南 支部	松元 直人	陸		50	中山 博文	海
25			南 支部	松元 俊之	陸		51	鎌田 つるみ	陸
26	伊集院支部	外屋敷 孝好	陸	52	瀬戸内支部	土井 一馬	海		

令和4年度物故会員名簿
謹んでご冥福をお祈り申し上げます 合掌

番号	氏名	支部等	機関	逝去年月日	享年
1	池畑 憲一 様	伊佐支部	特別会員	令和5年6月28日	76歳
2	桑鶴 勉 様	鹿児島地協	特別会員	令和4年7月31日	77歳
3	蔵元 続 様	国分支部	陸	令和4年 月 日	89歳
4	岩下 学 様	始良支部	陸	令和4年2月28日	85歳
5	和田 利行 様	伊集院支部	陸	令和4年 月 日	88歳
6	新村 松一郎 様	鹿児島地協	空	令和4年4月7日	73歳
7	小蔵崎 進 様	国分支部	陸	令和4年5月18日	88歳
8	本村 伸一 様	国分支部	陸	令和4年6月28日	92歳
9	内 和幸 様	伊集院支部	陸	令和4年6月30日	90歳
10	坂口 鉄夫 様	金峰支部		令和4年6月30日	92歳
11	吉田 国蔵 様	出水支部	海	令和4年7月3日	86歳
12	榎田 英光 様	始良支部	海	令和4年7月8日	97歳
13	岩下 次男 様	国分支部	陸	令和4年8月15日	89歳
14	吉窪 芳隆 様	鹿児島地協	陸	令和4年 月 日	87歳
15	矢野 大二 様	始良支部	陸	令和4年8月14日	80歳
16	大石 時雄 様	国分支部	陸	令和4年10月2日	90歳
17	宮ノ原 修 様	伊佐支部	陸	令和4年9月24日	83歳
18	片平 豊喜 様	南さつま支部	陸	令和4年10月4日	83歳
19	別府 洋光 様	奄美支部	空	令和4年10月8日	88歳
20	龍宝 誠美 様	隼人支部	陸	令和4年10月31日	86歳
21	久保 一美 様	隼人支部		令和4年11月1日	88歳
22	永尾 定雄 様	伊集院支部	陸	令和4年11月3日	92歳
23	作下 義久 様	徳之島支部	陸	令和4年7月 日	87歳
24	徳永 英信 様	伊集院支部	陸	令和4年10月8日	89歳
25	井之上 春夫 様	隼人支部	海	令和4年12月7日	89歳
26	古川 清行 様	いちき串木野支部	陸	令和4年12月10日	85歳
27	吉村 昌伸 様	始良支部	陸	令和4年10月11日	91歳
28	山崎 久司 様	枕崎支部		令和4年12月22日	67歳
29	菊野 和郎 様	南さつま支部	陸	令和4年12月27日	96歳
30	増田 和己 様	さつま支部	陸	令和5年1月1日	88歳
31	八品 四郎 様	大崎支部		令和4年11月 日	歳
32	池田 喬 様	国分支部	陸	令和5年1月17日	90歳
33	茶園 正克 様	伊佐支部	陸	令和5年1月16日	81歳
34	東原口 勝己 様	隼人支部	陸	令和5年2月1日	88歳
35	濱島 昭夫 様	国分支部	陸	令和5年2月19日	91歳
36	福重 信雄 様	国分支部	陸	令和5年3月2日	86歳
37	坂元 良美 様	始良支部	陸	令和5年3月2日	93歳
38	二間瀬 正平 様	鹿屋(陸空)支部	陸	令和5年3月19日	91歳

1 全般

県隊友会は、県民と自衛隊のかけ橋として、県民の防衛に対する一層の理解と認識の向上に努め、防衛及び防災施策、自衛隊諸活動ならびに予備自衛官等の支援を基本とし、慰霊顕彰事業、及び地域社会の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に貢献する。

このため、公益目的事業の定着充実により会活動の活性化を図るとともに、会勢の拡大、収益事業の強化により会基盤の充実を図り、合わせて会員の福祉と親睦のための事業を継続して会の魅力化に努める。特に、令和4年度九州沖縄ブロック研修会事業を担当実施する。

事業実施に当たっては新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、社会的距離の確保など3密(密閉・密集・密接)を避け、会員・自衛隊員等の感染防止に努める。なお、本事業計画の実施にあたっては、新型コロナウイルスの感染状況により事業内容を変更する可能性がある。の方針のもと、会長を核心とした各グループの各事業、特にコロナ禍3年目も引き続き県内感染者の在る中に協力団体との共催にて、県主要事業である3年ぶりの九州沖縄ブロック研修会を担当、研修課題発表、防衛講話、意見交換会及び現地研修の実施、定期総会及びグラウンドゴルフ大会等諸行事を縮小開催・中止、県及び各地域の防災・慰霊顕彰事業等の縮小開催・中止、自衛隊各部隊諸行事の縮小開催、対応が極めて困難な中であつたが、開催及び参加可能な事業への感染予防対策に基づく県・支部・会員の活動への協力により所期の成果を収めた。

2 主要事業の成果

(1) 総務・組織

ア 会勢の充実・拡大

(ア) 会員の増勢

駐屯地・基地への「会勢拡大施策」と連携し、即日入会者増に努めるとともに、各支部活動を通じ、未加入OBの掘り起こしと入会勧誘を継続して会員の増勢に努めた。

令和4年度正会員入会者数 52名《昨年 35名》

内訳：陸：42名《30》、海 8名《5》、空 2名《0》

即日入会者 30名《6》、新規・再入・転入会者 22名《29》

(イ) 会員名簿の整理

定期的に即日入会者、新規入会者等情報の入手に努め、会員名簿を更新し、会勢の最新状況の把握及び議決権行使事務の円滑化に努めた。

(ウ) 家族会員の増勢

本年度入会者 0名、現在会員数 100名で昨年からの増加はなかった。

引き続き全支部加入率10%(正会員比)を次年度も追求したい。

(エ) 女性部会の活動促進・支援

毎年1回の研修を計画・企画するとしていたが、新型コロナウイルスの関係で本年度も実施できず、成果がなかった。次年度も研修を計画する。

(オ) 会員の定着率向上

新入会員の安心・不安解消のため、各支部の特性に応じて創意を尽くした活動をきめ細かく実施すれば必ず成果があることを周知して退会者の抑制に努めた。

国分支部「(株)霧島ふるさとおたすけ隊6070」施策の各支部への拡大に付いては、支部担当者

の発掘が重要で、次年度以降も各支部に担当者指名の努力をお願いしていく。

イ 組織の改編・強化

(ア) 新支部の結成促進

各地域の自発性を尊重しつつ新支部等の結成及び空白地域会員の既存近隣支部への編入等の情報収集及び調整を進めたが、本年度は新支部結成されたところはない。引き続き、新支部結成の気運がうかがえる溝辺地区を重視していきたい。

(イ) 役員後継者の育成・登用

支部活動の活性化を図るため、熱意と実行力のある新役員要員(曹友会長、先任上級曹長・伍長経験者等)登用を推進したが、支部の活性化に至っていない。

ウ 会務運営の効率化

(ア) 令和4年度定期総会

新型コロナウイルス対策のため、5月28日(土)1330～1500の間、副会長以上での、縮小した形での総会を実施した。

その他の会員には委任状を提出していただき、議決権行使率 90.5% で総会は、成立し、全議案は可決された。

(イ) IT機器の効果的運用の推進

会員相互のアクセスの拡大を図り、会員の参画意識を促すとともに、情報の迅速な伝達及びホームページの最新状況の更新に努め、会員の情報共有の手段として定着しつつある。引き続き支部等からの情報提供を頂きながら、掲載内容の充実・更新を図りたい。

また、各支部担当者のメールアドレスの掌握が完了し、支部とのネット環境がほぼ完成した。これにより、来年度はコロナ対策と移動旅費等経費削減のためオンライン会議方式を取り入れる。

(ウ) 規則類の見直し

本部の定款・規則類の見直し・改正はなかった。また、県各支部等からの改正要望もなく、県規則類の改正もなかった。

(2) 市民・防衛・広報

ア 防衛意識の高揚

(ア) 九州・沖縄ブロック研修会鹿児島大会の実施

令和4年11月12日～13日の間、指宿市のいわさきホテルでの開会行事、研修会、防衛講話、引継ぎ行事及び意見交換会。二日目の現地研修として、番所鼻自然公園と知覧特攻平和会館の研修を計画し、3年ぶりの開催で、コロナの感染拡大を考慮し、参加者を隊友会員に限定して実施した。昼の部は132名、夜の部は96名の参加となった。概ね計画どおり実施し、所期の成果を得た。

(イ) 安全保障フォーラムはブロック研修会の防衛講話に変えて実施した。

イ 自衛隊及び地方公共団体の防災・国民保護施策等に対する協力

(ア) 自治体等の行う総合防災訓練への参加

a 鹿児島県総合防災訓練への隊友会員参加の要請はなかった。

b 桜島火山爆発総合防災(住民避難)訓練:令和4年10月19日

鹿児島市が実施した訓練に鹿児島地区協議会から6名参加した。

桜島支所において状況付与2名、島内各地から避難してくる島民の避難誘導2名、そして重傷者の迅速な避難のため、ヘリポートの安全確保2名の任務を遂行した。

c 桜島火山爆発総合防災(避難所運営)訓練:5年1月7日

鹿児島市が実施した避難所運営訓練(隊友会の参加はなし。)

ウ 地域社会の健全な発展に寄与する各種協力

青少年の健全育成、公園、慰霊碑・戦没者墓地等の清掃、各種慰霊祭へ参加した。

4月10日 宮口会長以下8名(万世特攻慰霊祭参加)

7月31日 瀬戸内支部員等22名(戦没者慰霊塔及び富山丸供養塔清掃)

8月7日 奄美支部員等24名(奄美群島殉職者慰霊塔及び周辺清掃)

9月3日 奄美支部員等(くれないの塔慰霊祭)

10月9日 鹿児島地区協議会等32名(鹿児島戦没者墓地清掃)

10月15日 宮口会長他18名(鹿児島県殉職隊員慰霊祭)

エ 広報活動

広報誌「隊友さつま」の発刊

発刊計画に基づき、57号(4. 7. 15)・58号(5. 1. 15)を発刊した。

(3) 部隊等支援・協力諸団体・親睦

ア 部隊等支援

コロナ禍の影響により、予定されていた各部隊等支援に制限

- (ア) 各駐屯地等の創立記念行事等→中止、若しくは部内開催(規模縮小)
川内駐屯地創立記念行事(4月)→令和5年2月に延期(2/26)
北熊本駐屯地(第8師団)創立記念行事(4/17)、みなと祭り・歓迎行事(7/30)
国分駐屯地夏祭り(8/4)、健軍駐屯地(WAHQ)創立記念行事(9/19)
国分駐屯地創立記念行事(11/27)、奄美駐屯地開設記念行事(2/5)
- (イ) その他の行事及び訓練等支援・激励→部内開催、若しくは規模縮小(参加者限定)
国分駐屯地における一般陸曹候補生課程入隊式及び修了式、各駐屯地成人式等
地方協力本部における出陣式及び海自艦艇入港歓迎会等
8施設大隊(川内駐屯地)の漕舟競技会激励(12/15)

イ 部隊等との交流

- (ア) 鹿児島地方協力本部との意見交換会(5/10)
隊友会の現況及び主要活動等について説明、相互理解と連携促進を図った。
- (イ) その他の部隊との意見交換会
国分駐屯地：→次年度1/四半期(4月～5月)での実施を調整中
川内駐屯地：令和5年 3/7(火)
鹿屋航空基地：令和5年 2/24(金)

ウ 予備自衛官招集訓練等の激励

会長、所掌副会長及び各支部長、3Gp理事役等が参加し、激励
隊友会説明を実施するとともに、意見交換及び激励タオルの贈呈

- (ア) 国分駐屯地：#1(7/9)・・・72名、#2(8/20)・・・58名
#3(9/24)・・・78名、#4(11/26)・・・78名
#5(令和5年1/14)・・・73名、#6(令和5年3/4)・・・54名
- (イ) 川内駐屯地：#1(7/23)・・・30名、#2(令和5年1/21)・・・27名
- (ウ) 地方協力本部(1日訓練)：#1(4/18)・・・9名、#2(7/24)・・・14名
#3(10/16)・・・17名、#4(令和5年1/15)・・・13名
- (エ) 海上自衛隊鹿屋航空基地：(9/30)・・・7名
- (オ) 即応予備自衛官招集訓練の激励 →未実施

エ 募集・援護等の支援

- (ア) 各地区の入隊者激励会への参加、支部総会への募集担当者の招致・説明受け等
- (イ) 退職予定の任期制隊員に対する就職補導教育の中での隊友会説明
- (ウ) 現職隊員(賛助会員)に対する隊友会活動の現況等についての広報・PR
- (エ) 「(株)霧島ふるさとお助け隊6070」と提携した援護支援(現在登録者数:約70名)

オ 家族等の支援

- (ア) 国分駐屯地
国分駐屯地業務隊が実施する安否確認検証訓練に地元地域の自衛隊家族会と
ともに、隊友会各支部が参加
#1検証訓練(10/8):伊佐地区、#2検証訓練(3/3):鹿屋地区

- (イ) 川内駐屯地：現在、部隊及び家族会等との連携要領等について調整中
- (ウ) 奄美駐屯地及び海・空自衛隊関係：体制整備中
- カ 殉職隊員及び戦没者等に対する慰霊・顕彰、援助
 →コロナ禍の影響により、各種慰霊祭等は、中止或いは関係者のみ(規模縮小)で実施
 万世特攻慰霊碑慰霊祭(4/10)、出水特攻慰霊碑慰霊祭(4/16)、
 国分基地特攻隊員戦没者慰霊祭(4/22)、知覧特攻基地戦没者慰霊祭(5/3)
 東郷記念祭(5/29)、沖縄戦没者慰霊祭(6/19)、大東亜戦争戦没者慰霊祭(8/15)
 鹿児島県殉職隊員慰霊祭(10/15)、鹿児島県戦没者慰霊祭(10/25)
 鹿屋基地追悼式(10/31)、国分駐屯地殉職隊員慰霊祭(11/26)
 比島戦没者慰霊祭(令和5年3月)、鹿児島戦没者墓地慰霊祭(令和5年3/26)
- キ 防衛協力諸団体等との連携
 →コロナ禍の影響により、防衛協力諸団体との連携に制限を受けた。
- (ア) 県防衛協会主催の防衛協力諸団体合同賀詞交換会(1月)→中止
- (イ) 防衛協力諸団体等の総会行事等
 鹿児島県自衛隊家族会、鹿児島地本後援会、鹿児島偕行会、鹿児島県郷友会等
 各支部総会等への参加及び支部訪問、激励・懇談
- ク 親睦・福祉厚生等
- (ア) ディフェンスさつまゴルフ大会(10/15)：大隅カントリークラブ
 12組43名参加 優勝：上木原章吾さん(鹿屋基地OB会)
 準優勝：有留浩行さん(国分駐屯地)
 第3位：上玉利進さん(鹿屋基地OB会)
- (イ) グラウンドゴルフ大会(10/8)：国分海浜公園【担当：国分支部】
 26個チーム130名参加(団体)優勝：薩摩川内支部A
 第2位：さつま支部A
 第3位：国分支部A
 (個人)優勝：平原誠さん(隼人支部C)
 第2位：岩下マツヨさん(薩摩川内支部A)、
 第3位：小田栄一さん(さつま支部A)
- (ウ) 囲碁大会(令和5年2/5)：国分総合福祉センター【担当：隼人支部、協力：国分支部】
 10名参加 Aパート 第1位：横手修さん(隼人支部)
 Bパート 第1位：小松久男さん(国分支部)
 Cパート 第1位：佐藤博さん(国分支部)
- (エ) その他(遺族支援及び災害被災見舞) →物故隊員に対する弔電等の処置

(4) 財務・事務局・監事

ア 本部への報告及び事業参加

定期及び随時報告を示された期日までに行った。尚、各支部からの報告に基づき、ボランティア保険手続き及び公益事業実施前報告書を送付した。

イ 各事業担任業務

総会縮小開催・ブロック研修会案内等、各会議準備(資料作成等を含む。)を各支部及び各グループの支援を得て整齐と行った。

ウ 予算の執行実績

年度事業計画の中止・縮小開催に伴う各事業予算を適正・効率的に運用するとともに、会計事務についても隊友会会計処理規定に基づき適正に実施。

エ 収益事業等

(ア) 焼酎天の輝き「隊友」、「鯉一番せんじ」、「島原手延べソーメン・うどん」の販売聞「隊友さつま」への広告掲載、広告紙を新聞折り込配布する等して、販売成果向上を図った。

イ) 「自販機設置場所の情報提供」

情報提供なし。

(ウ) 「引越見積支援サービス事業」

隊員の福利厚生支援として、国支部及び薩摩川内支部の協力を得て、令和4年度定期異動に伴う転勤隊員への「引越見積支援サービス事業」を実施した。

(エ) 隊友さつま広告掲載及び広告紙頒布依頼企業開拓

隊友さつまへの広告掲載は、9件(7月新聞に5件、1月新聞に4件)を、鹿児島地区協議会、国支部が協力した。広告紙頒布は、5件(島原手延べそうめん・うどん、九州リオン、丸大ハム(夏・冬ギフト)、本部事業(2件))を、各月新聞に折り込み配布した。

別紙第1 会勢等状況

別紙第2 主要事業実績

別紙第3 令和4年度正味財産増減計算書(略)

別紙第4 監査報告書

会 勢 等 状 況

鹿児島県 隊友会

1 会 勢 状 況

区 分		人 員 数				
		終身会員	会員(終身 会員を除く)	計		
前年度末正会員数		A	528名	1010名	1538名	
異動	本部経由即日入会	B	0名	30名	30名	
	県隊 友会 取扱	入会者		21名	21名	
		他県転入者	D	0名	1名	1名
		他県転出者	E	1名	1名	2名
		退会者	F	42名 (24)	54名 (12)	96名 (36)
年度末正会員数(A+B+C+D-E-F)			485名	1007名	1492名	

※ F 欄右側 () : 死亡会員数で退会者の内数

年度末正会員 出身別内訳	陸上	a	370名	791名	1161名
	海上	b	65名	125名	190名
	航空	c	43名	81名	124名
	その他	d	7名	10名	17名
年度末正会員数(a+b+c+d)			485名	1007名	1492名

年度末女性会員数		14名			
年度末予備 自衛官等会 員数	一般	208名	年度末特 別会員数	個人 会員	一般 43件
	即応	1名		家族	87件
	予備自補	0名		法人等会員	8件

2 会費及び寄付金徴収状況

正 会 員		特 別 会 員	
会 費 [年払、10・15・]	寄 付 金		
	終身会員	終身会員を除く会員	会費を除く
950名	228件	0件	0件

3 支部組織状況

	支部数	備 考 (職域支部は支部名を記入)
地域支部	39 ケ支部	鹿児島地区協議会：8ケ支部
職域支部	0 ケ支部	

主要事業実績


				鹿児島県	県隊友会		
事業		実績(回数・延参加者等)		備考			
会勢拡大	業務管理教育での隊友会紹介(注1)		0回	0人	延対象者	0名	
	業務管理教育以外での隊友会紹介(注2)		0回	0人	延対象者	0名	
	予備自衛官等招集訓練での隊友会紹介(注3)		15回	55人	延対象者	529名	
	上記以外の隊友会紹介		3回	21人	延対象者	36名	
公益事業	国・自治体に対する協力・支援	被災地でのボランティア活動		0回	0人		
		国・自治体計画	訓練への参加	4回	25人	鹿児島地協、国分、隼人、	
			行事への参加	5回	120人	国分、与論、	
	部隊に対する協力・支援	部隊の激励	行事	9回	113人	国分、隼人、	
			訓練	14回	154人	国分、隼人、薩摩川内、与論、瀬戸内	
			災害派遣等	0回	0人		
		部隊行事の支援(警備、案内等)		3回	9人	伊佐、	
		部隊計画訓練への参加(防災等)		2回	5人	隼人、与論、	
		部隊計画訓練への参加(家族支援)		2回	14人	伊佐、鹿屋	
	募集・援護	募集協力員			12人	伊佐、伊集院、与論、瀬戸内	
		募集情報提供数			7件	与論、湧水、瀬戸内	
		入隊者数			2人	与論、湧水(防大)	
		就職情報提供数			1件	伊佐	
		就職者数			0人		
	予備自衛官等に対する協力	招集訓練の激励(注4)		9回	22人	国分、隼人、与論	
		招集訓練の支援(講話等)		0回	0人		
	防衛講話・セミナー	県の計画(除く本部助成事業)		1回	132人	会員	129名
		支部の計画		2回	43人	非会員	4名
	慰霊・顕彰	殉職隊員追悼式(駐屯地・基地等)		2回	16人	国分駐屯地、鹿屋航空基地、	
		殉職隊員慰霊祭(県護国神社等)		1回	14人	縮小開催 県会長、鹿児島地方協力本部長、 遺族：14名)	
戦没者等慰霊祭		12回	86人	護国神社、各地区の慰霊祭			
慰霊碑等の清掃・管理(駐屯地・基地等)		0回	0人	清掃箇所	0箇所		
慰霊碑等の清掃・管理(駐屯地・基地等を除く)		14回	215人	清掃箇所	18箇所		
備考	県隊友会計画の公益事業・親睦事業については、年度事業報告に記述						
	注1: 担当県隊友会のみ報告						
	注2: 地方協力本部・部隊等が計画した教育の場での隊友会紹介						
	注3: 予備自衛官等の招集訓練での隊友会紹介						
	注4: 予備自衛官勤続記念き章贈呈は激励で計上						

監 査 報 告 書

令和4年度の会計及び業務について監査した結果は、適正にして異常のないことを認め、これを報告致します。

令和 5 年 4 月 5 日

鹿 児 島 県 隊 友 会

監 事 役 肥 後 秀 一 

監 事 役 山 口 高 志 

令和5年度事業計画(案)

1 方針

県隊友会は、県民と自衛隊のかけ橋として、県民の防衛に対する一層の理解と認識の向上に努め、防衛及び防災施策、自衛隊諸活動ならびに予備自衛官等の支援を基本とし、慰霊顕彰事業、及び地域社会の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に貢献する。

このため、公益目的事業の定着充実により会活動の活性化を図るとともに、会勢の拡大、収益事業の強化により会基盤の充実を図り、合わせて会員の福祉と親睦のための事業を継続して会の魅力化に努める。

事業実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化を想定したWITHコロナ時代に適合した活動に留意する。

2. 基本事業・重点事業等の主要着眼事項

(1) 総務・組織

ア 会勢の充実・拡大

(ア) 会員の増勢

駐屯地・基地への「会勢拡大施策」と連携し、即日入会率の向上に努めるとともに、未加入OBの掘り起こしと入会勧誘を継続して会員の増勢を図る。

このため、部隊行事、部隊長等懇談会参加時に一般隊員への隊友会の広報と理解の促進に努めるとともに、予備自衛官招集訓練時の教育支援、懇親会の参加により予備自衛官未加入者の入会促進を図る。

(イ) 会員名簿の整理

オンラインを活用し、定期的に即日入会者、新規入会者等情報の入手に努め、会員名簿を最新の状態に維持して継続的に会勢を把握し、本部への名簿報告及び次年度総会議決権行使等の事務に資する。

(ウ) 家族会員の増勢

家族会員制度の更なる理解・普及を推進し、家族会員の加入率増加を図る。本年度も加入率（正会員比）10%以上の目標を継続し、家族会員の増勢に努める。特に女性部会行事に合わせ、家族会員の女性も参加を促し、家族会員加入の促進に寄与する。

(エ) 女性部会の活動促進・支援

女性部会の充実強化を継続するとともに、緊密な連携のもと、その活動を積極的に支援して県隊友会及び支部活動の活性化に繋げる。毎年1回、部隊訪問研修を計画し、活動促進を図り、家族会員の女性参画も促す。

(オ) 会員の定着率向上

新入会員の入会時の不安解消と満足感の付与のため、各支部の特性に応じて創意を尽くした活動をきめ細かく実施する。

この際、国分支部「（株）霧島ふるさとおたすけ隊6070」の成果を、各支部へ拡大普及していくため、支部担当者を指名することを重視する。

イ 組織の改編・強化

(7) 新支部等の結成促進

近年、結成気運が高まりつつある溝辺地区の直轄会員と連携に努め、支部結成の情勢を図る。また、支部未結成地区直轄会員の新支部の結成及び近隣既存支部への加入を推進する。

(4) 役員後継者の育成・登用

支部活動の活性化を図るため、現職時代の階級意識の払拭、熱意と実行力のある新役員要員（曹友会長、先任上級曹長・伍長経験者等）の人材発掘と登用の努力を各支部にお願いし、県理事役等への推薦を受ける。

ウ 会務運営の効率化

(7) 定期総会

定期総会は、コロナ前の実施要領に戻し、総会後の防衛後援会及び懇親会を併せ実施し、必要な議事を執り行うとともに、会員の啓発・懇親の機会とする。

a 日時： 令和5年5月27日（土）1300～1800

b 場所： 鹿児島市内（サンロイヤルホテル）

c 内容： 総会、防衛講話（講師： 依頼予定）、懇親会

※ 新型コロナウイルスの5月8日5類指定により、上記内容で実施し、変更は計画しない。

(4) 議決権の行使

本部総会及び県総会の不参加者の議決権行使は手続に基づき済々とする。

(4) IT機器の効果的運用の推進

会員相互のアクセスを拡大し、更なる会員相互の情報連携の推進に努めると共に、県隊友会事務局との連携によりホームページの最新状況の更新を図り、「各支部だより、会員からの要望・情報等」の機微な発信に努め、会員相互の情報共有の有効な手段として活用できるよう継続的に充実・更新を図る。

この際、コロナ対策と移動旅費等経費削減のためオンライン会議方式を取り入れる。

(4) 規則類の見直し

本部の定款・規則類の見直し及び会員の改正意見等に基づく県隊友会規則の改正・見直し等を適宜行う。

(2) 市民・防衛・広報

ア 防衛意識の高揚

我が国の安全保障・防衛体制及び自衛隊の国内外行動について、会員及び一般市民の認識の向上を図る。

(ア) 九州・沖縄ブロック研修会長崎大会への参加

(イ) 安全保障フォーラム

期日：……………未定

会場：……………未定

イ 自衛隊及び地方公共団体の防災・国民保護施策等に対する協力

(ア) 隊友会自衛情報ネットワークの維持・拡充

隊友会自衛情報ネットワーク協力者名簿の補備・修正

(イ) 国民保護法事態及び大規模災害発生時における自治体との協力協定

未締結自治体と各支部等との協力体制を推進する。

(ウ) 自治体等の行う総合防災訓練等への参加

a 鹿児島県総合防災訓練

担 当： 鹿児島県(始良市)

期 日： 令和5年5月28日

場 所： 始良市等

参加者等： 細部不明

b 桜島火山爆発総合防災訓練(図上訓練、避難訓練、避難所運営訓練)

担 当： 鹿児島市

期 日： 令和5年度

場 所、参加者等： 細部不明

ウ 地域社会の健全な発展に寄与する各種協力

支部ごと、青少年の健全育成、公園・慰霊碑・戦没者墓地等の清掃、各種慰霊祭への参加及び各地域の行う行事等の社会活動に参加して、会活動の活性化を図る。

特に、燃ゆる感動かごしま国体（特別国民体育大会）及び燃ゆる感動かごしま大会（特別全国障害者スポーツ大会）へのボランティア活動に参加し、支援・協力する。

エ 広報活動

広報紙「隊友さつま」の発刊

発刊計画は別紙のとおり。

オ 憲法改正運動

美しい日本の憲法をつくる鹿児島県民の会と連携協力し、憲法(9条)改正に向けての県民意識の高揚を図る。

カ 自衛隊馬毛島基地(仮称)建設

馬毛島基地(仮称)建設を推進する団体等と連携協力し、県民意識の高揚を図り、基地実現に寄与する。

目的	・隊友会活動の周知(情報共有) ・自衛隊情報の周知		時期	年2回(A3版4ページ) 発行(7月、1月)									
部数	2500部		経費	会費&広告協賛費から充当 27500円/1回									
細部計画													
発刊時期	上半期 7/15						下半期 1/15						
発刊業務予定	時期	3/下 4M前	4/上 3M前	6/上 1M前	6/下 3W前	6/末 2W前	7/中 当日	9/下 4M前	10/上 3M前	12/上 1M前	12/下 3W前	12/末 2W前	1/中 当日
	内容	編集計画	原稿依頼	最終依頼	校正	印刷 登注	完成	編集計画	原稿依頼	最終依頼	校正	印刷 登注	完成
主要行事	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	県	記念日		防災訓練		GG大会		防衛フォーラム		囲碁大会			
	ボランティア関係	定期総会		暑気払い						忘・新年会			
	支部	地域ボランティア活動											
	慰霊祭等	慰霊碑清掃								慰霊碑清掃			
	慰霊祭参加												
面	主掲載内容	記事項目			記事割当(者)支部			記事項目			記事割当(者)支部		
1面	・主行事	・新年度活動方針等 ・会長参加行事等			別途指示			・年頭の辞			別途指示		
	・特別寄稿等	・役員交代紹介 ・特別寄稿						・年頭の辞					
	・結節時記事	・12~5月の行事等						・年頭の辞					
	・コラム	・理事&支部長等			木房氏			・理事&支部長等			樺山氏		
2面	県隊友会のページ(割当)	・個人投稿記事			健康アドバイザー 滝川氏 鹿地協 南支部			・個人投稿記事			与論支部 県GG大会(支部)		
		・県の行事又は身近な話題も可			鹿児島地協 大崎支部			・県の行事又は身近な話題も可			徳之島支部 鹿児島地協		
		・家族関係投稿等			鹿地協 郡山支部			・家族関係投稿等			指宿支部		
3面	支部活動状況(割当)	・支部紹介等 ・意見・提案等			南さつま 金峰支部			・支部紹介等 ・意見・提案等			加治木支部		
		・身近な話題(慰霊祭、ボランティア等)			横川支部 いちき串木野支部 奄美(名瀬)支部			・身近な話題(慰霊祭、ボランティア等)			鹿児島東支部 隼人支部 中種子支部		
		・会員紹介			始良支部			・会員紹介			喜入支部		
		・表彰(叙勲、隊友会等)			表彰、叙勲			・表彰(叙勲、隊友会等)			表彰、叙勲		
4面	自衛隊情報 県内基地等に依頼	・身近な話題(部隊行事等)			下甕島分屯基地 奄美通信隊			・身近な話題(部隊行事等)			鹿児島地本 沖永良部島分屯基地		
		・PKO、訓練紹介 ・予備自訓練			国分駐屯地			・PKO、訓練紹介 ・予備自訓練			奄美駐屯地		
		・定年退職前隊員の声			川内駐屯地			・定年退職前隊員の声			鹿屋基地		
		・隊員紹介等			音響測定所			・隊員紹介等			奄美分遣隊		
広告	割当	4社(鹿児島2、国分、川内)						4社(鹿児島2、国分、鹿屋)					

(3) 部隊等支援・協力諸団体・親睦

ア 部隊等支援

部隊等支援は、会活動の重要な柱であるという認識の下、県・支部等が相互に調整・連携を図りつつ、共同して積極的に部隊等の活動を支援する。

このため、部隊等が実施する主要訓練・演習、駐屯地行事に対し、密接に協力・支援するとともに、災害派遣、国際貢献活動に際しては、慰問・激励を実施する。

イ 部隊等との交流

部隊指揮官・幕僚との間における定期的な意見交換の場を設定し、隊友会活動の広報及び部隊側の意見聴取を行うとともに、部隊訓練の見学及び警備隊区・離島地域での訓練機会等を活用して隊員と支部会員との直接的交流の場を積極的に設定する。

併せて、現職隊員(賛助会員)に対する隊友会活動の現況を広報するために、各駐屯地等の厚生センターに設置した「隊友会 PR コーナー」の活用・充実を図る。

ウ 予備自衛官等の支援

予備自衛官及び即応予備自衛官招集訓練の激励を計画的に実施する。

この際、予備自衛官福祉支援制度の普及に務めるとともに、隊友会への加入促進を図る。

(ア) 招集訓練参加記念品の全員配布(海上自衛官含む。)

(イ) 招集訓練射撃優秀者隊員の顕彰

(ウ) 招集訓練時、地本の協力を得て意見交換会(昼間・夜間)の実施

(エ) 即応予備自衛官招集訓練の激励及び訓練見学、担当部隊との懇談

エ 募集・援護等の支援

地方協力本部及び地域事務所との連絡・調整関係を保持し、募集・援護に関する情報の収集・提供を主体として協力する。このため、各支部は地域事務所の開催する募集連絡会同等への参加、支部総会での説明会、入隊激励会・広報官激励等を実施する。

(ア) 募集環境の厳しさを認識し、縁故募集等に積極的に協力・支援する。

この際、功績のあった会員については、表彰の対象とする。

(イ) 地域の企業に就職している会員からの援護情報を積極的に収集・提供するとともに、併せて、隊友会への加入促進を図る。

(ウ) 任期制隊員及び定年退職隊員に対する就職補導教育等の場を活用し、募集・援護業務に協力するとともに、併せて隊友会説明を実施して会勢拡大に寄与する。

オ 家族等の支援

自衛隊業務に対する協力・支援事業(自衛隊員家族相談窓口支援・託児支援施策協力・家族支援施策協力・隊員に対するカウンセリング実施支援等)について、部隊側の要望に応じ積極的に対応する。

この際、離島地域及び海・空自衛隊を含めた家族支援制度の充実・普及に務めるとともに、協力会員名簿の継続的な更新・整備に務める。

また、自衛隊側の行う安否確認検証訓練に際しては、これに積極的に参加する。

カ 殉職隊員及び戦没者等の慰霊・顕彰、援助

(ア) 殉職隊員の慰霊・顕彰

各駐屯地・基地等で行われる各種追悼式等に参加し、弔意を表するとともに、地方協力本部の協力を得て、護国神社における県殉職者慰霊祭を主催する。

(イ) 戦没者等の慰霊・顕彰

護国神社春季大祭、鹿児島県沖縄戦没者慰霊祭、大東亜戦争戦没者慰霊祭、鹿児島戦没者墓地慰霊祭に参加・協力するとともに、各地域で実施される主要な慰霊祭等については会長が参列する。

各支部単位においては、地域の戦没者墓地、各種慰霊碑等の清掃活動等を積極的に実施するとともに、各種慰霊祭等に積極的に参加する。

キ 防衛協力諸団体等との連携

共に「国民と自衛隊とのかけ橋」を志す各防衛協力諸団体及び各駐屯地・基地の部隊 OB 会等との常日頃からの連携に留意しつつ、協同した活動の可能性を模索する。

各支部単位においては、地域の自衛隊家族会と連携し、現役隊員の退職後の将来像でもある隊友会会員の現役時の勤務、退職後の就職・隊友会活動状況等を家族会員に紹介・説明し、隊友会との早期からの関係構築による安心感の付与、離職防止とともに、隊友会の会勢拡大に務める。

(ア) 防衛協力諸団体等の事業への参加

(イ) 防衛協力諸団体等との調整会同の開催

(ウ) 防衛協力諸団体が実施する慰霊祭等、各種事業への協力

(エ) 自衛隊・協力諸団体・各部隊 OB 会及び一般市民との連携事業の開拓

(オ) 地域社会における各種協力

ク 親睦・福祉厚生等

会員の親睦及び福祉厚生は、会員の心を癒し、会基盤の維持・拡充を図るため、必須の要件であり、県本部と各支部等の連携に務めるとともに、創意を凝らして充実を図る。

この際、各親睦事業の実施に当たっては、駐屯地等の修身会・曹友会等との連携に務め現職隊員・家族等の参加を積極的に案内する。

(ア) 主要な親睦事業等

a 総会時の懇親会 :令和5年5月

b ディフェンスさつまゴルフ大会 :令和5年 10 月【国分支部担当】

c グラウンドゴルフ大会 :令和5年 11 月【川内支部担当】

d 囲碁(将棋)大会 :令和6年2月 【国分支部担当】

(イ) 会員の叙勲・功績に敬意を表するとともに、不慮の事故等にあつては、連絡態勢を適切に保持し、時宜を失さないよう、心あるお見舞等を行う。

(ウ) 隊友会活動の PR 効果とともに、各支部の団結と士気高揚を図るため、隊友会幟を作成配布するとともに、引き続き、未配布支部への隊友会幟の作成・配布を推進する。

(エ) 「(株)霧島ふるさとお助け隊 6070」等への登録を通じ、隊友会会員の再就職を支援し、会員相互の福利厚生に務めるとともに、会勢拡大に寄与する。

(4)財務・事務局・監事

ア 財務強化の会費徴収厳正化

会費については、貴重な会員財源であることを再認識の上、即日入会率向上施作の推進、年度会費2年連続未納者に対する会員継続依頼による会費納入者の増加及び特別会員の増加を図り、年会費の増収に努める。

各支部等には、支部徴収の各会員年度会費及び寄付(会費)の1/3(1,000円)を県本部への納入努力を依頼する。

イ 年度事業・予算計画に基づく適正な予算の執行

予算の執行にあたっては、年度事業・予算計画に基づき、適正・効率的に運用するとともに、会計事務についても隊友会会計処理規定に基づき適正に実施する。

別紙第1 令和5年度予算報告書(案) (略)

ウ 収益事業等

引き続き、各販売事業及び広告収益事業を次のとおり積極的に行う。

(ア) 天の輝き「隊友」は、九州各県隊友会への販売の拡大及び県内会員への販売拡大を図る。

(イ) 隊友会員の健康維持増進食品として「鰹一番せんじ」の販売を促進する。

(ウ) 各支部の活動資金づくりに「島原手延ベソウメン・うどん」の販売を推進する。

(エ) 自販機設置場所情報提供収益事業、公園施設管理・ハンター事業等公益事業及び相互扶助事業は会員及び関係者へ主旨を説明し、情報の獲得に努める。

(オ) 広告紙頒布依頼企業を開拓し収益の増大に努める。

(カ) 「隊友さつま」への広告協賛企業を各支部等に募る。

(キ) 「引越見積支援サービス事業」を行い、転勤に伴う隊員の負担軽減に寄与すると共に、斡旋料による収益の増大に努める。

エ 県事務所の運営

(ア) 事務所運営に、鹿児島地区協議会からのボランティア協力を得て、事務所勤務を拡充し本部及び各支部等との連絡体制を保持する。

(イ) ㈱日本安全対策推進機構鹿児島事務所の依頼事項に対しては、県隊友会として積極的に協力する。

3 主要な事業予定

別紙第2 令和4年度主要行事予定表(案)

令和5年度主要

期 月	1・四			2・四		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
主 要 行 事	23 九州・沖縄連絡協議会(福岡)	20・21 燃ゆる感動か ごしま大会リーサル 28 県総合防災訓練 (始良市)	22 本郷定時総会 22 県隊友会長等会 同 23 幹業協力者会同 3・4 燃ゆる感動か ごしま大会リーサル		15～16 お盆	16～24 燃ゆる感動 かごしま団体
会 議		27 県総会		2 #1副会長等会議		3 #1理事役等会議 17 #1支部長等会 議
本郷への 報告・上申	15 年度本報告 表彰上申	31 会員名簿報告	30 県役員名簿報告			
部 隊 等 行 事	上級部	15・16 SD創立記 念行事(北原本) 中止	○富士総合火力演習		○富士総合火力演習	
	園分	8 新隊員入隊式 2 親族会		○ 新隊員終了式	15 #1予備自訓練 (園分) 15・16 森島市夏 祭り	4 駐屯地夏祭り 26 #2予備自訓練(園 分) 16 #3予備自訓練
	川内		○ 下級園分屯基地 同隊記念行事	○ 後期新隊員入隊 式 22 #1予備自訓 練 ○ 夏休みちびっ子	○ 川内川花火大会 支援	○ 川内大綱引き支援 下旬 後期新隊員終 了式
	嵐屋	29 音楽祭 30 イアームリアル inかごま				○ かごま夏祭り
	老若					初旬 駐屯地夏祭り
	下級			○ 基地同隊記念行 事 ○ 意見交換会	○ 自衛隊みなと祭 15 #1予備自訓練 (園分)	26 #2予備自訓練(園 分) 16 #3予備自訓練 (園分)
	地本	16 予備自1日訓練 12 幹業・視察出陣 式		○ 地本後援会		28 鹿児島指行会 ○ 鹿児島県那友会
協 力 団 体 諸 行 事	総会	○県防衛協会 8 水交會	○ 県家検會 ○ 鹿児島市防衛協 會			
	慰霊 追悼	23 万世神攻慰霊祭 13 瀬園神舎孝季大 祭 16 出水神攻慰霊祭	3 知覧神攻慰霊祭 28 東那記念祭	18 鹿児島県神護歌 祝者慰霊祭	16 那友会「県民防 衛講座」	
	祝賀		3 憲法記念日			
支 部 行 事	定期総 会 議務懇 親			○ 総会(園分) ○ 総会(個人) 18 定期総会(嵐屋 協)		
	慰 霊 追 悼	16 出水神攻慰霊祭 (出水) 23 万世神攻慰霊祭 [南さつま・金峰] 中旬 瀬園神社慰 霊祭 [伊集院]			○ 瀬園神社慰霊祭 (加治木)	○ くれないの塔慰 霊祭 (名瀬)
	清 掃 奉 公 益 奉 業		○ 山田筑波門慰 霊祭 清掃(始良)	○ 錦江湾クイーンア ップ作歌(園分)	○ 錦江湾クイーンア ップ作歌、始良、加治木 ○ 錦江湾横断遊歩 支援(嵐屋協)	上旬 瀬園神社清掃 [伊集院] ○ 赤峰公園慰霊塔清 掃(名瀬)
	親 睦 懇 談				29 納涼大会(嵐屋 協)	10 グラウンドゴルフ 大会(嵐屋協)

行事予定表(案)

期 月	3・4			4・4		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主 要 行 事	7～17 燃ゆる感動 かごしま国体 28～30 燃ゆる感 動かごしま大会 □ 安全保障フォー ラム □ 県内職隊員遊覧	18・19 九州・沖縄ブ ロック研修会(長峰 県) 5 県グランドゴルフ大 会(薩摩川内市)	□ 新田原航空 ショー・記念行事	1 元旦 □ 桜島火山爆発総 合防災訓練 □ 合同賀賀交歓会	11 建国記念日 □ 国民保護法訓練 □ 県団基大会(国 分集人地区)	
会 議			10 #2理事役等会 議	3 #2副会長等会 議 18 #3理事役等会 議	17 #2支部長等会議	
本 部 へ の 報 告 ・ 上 申			□ 本部事業計画 意見提出		5 事業計画(案) 予算(案)報告	
隊 単 行 事	上 級 部	□ 殉職隊員追悼式 10月下旬～11月上 旬 横四訓練 □ 航空観閲式	□ 自衛隊音楽祭 11月下旬～12月上旬 YS訓練1	□ 航空ショー 5空団(新田原)	10・11 方面音楽 祭り	2 四方追悼式 3 四方創立記念行事(舞 臺)
	国 分	4～18 燃ゆる感動 かごしま国体	4 #4予備自訓練 □ 師団検閲受閲 (0-1)	□ 師団検閲受閲 (0-2)	12 二十歳の祝典 13 #5予備自訓練 26・27 市民と自衛 隊の集い	23 駐屯地遊覧祭 24 駐屯地創立記 念行事 24 #5予備自訓練
	川 内	□ 駐屯地観月会		□ D武遺賛校友会参 加 □ 駐屯地年忘れ行 事	□ 成人式 27 #2予備自訓練	□ 駐屯地創立記念 行事
	薩 摩		11 殉職隊員追悼式	1 薩摩航空基地開 隊記念日	中旬～2/上歳奉訓 練	
	老 美					□ 駐屯地創立記念 行事
	下 飯					
	地 本	15 予備自1日訓練	4 #4予備自訓練(国 分)		27 #2予備自訓練 (川内) 13 #5予備自訓練	24 #6予備自訓練 (国分)
協 力 団 体 諸 行 事	総 会					
	慰 霊 追 悼	□ 県戦没者追悼式 □ 幸良基地出撃戦 没者追悼式(薩摩市) 13 護国神社秋季 大祭				31 鹿児島戦没者墓前遊 覧祭 27 比島戦没者遊覧祭
	抗 賀			□ 防衛諸団体賀賀 交歓会	11 建国記念奉抗 行事	
支 部 行 事	定 期 総 会					
	慰 霊 追 悼	□ 戦没者追悼式 (国分)	□ 戦没者追悼式 (始良)		下旬 万世神政理事 会(南さつま)	31 鹿児島戦没者墓前 清掃(鹿児島)
	清 掃 等 公 益 事 業	14 鹿児島戦没者 墓前清掃(鹿児島) □ 展示ジェット機周 辺の清掃(伊佐) □ 錦江湾カーニッ プ作戦、始良、加治 木)	□ 遊覧車清掃(始 良) □ 桜島火山爆発総 合防災訓練 □ わくわく福祉フェ スティバル	中旬 護国神社清掃 (伊集院)		
	親 睦 懇 談		2 おはら祭支援 (鹿児島)	□ 在住親類自衛官 との交歓会・支部懇 親会(始良)		市等の入隊者壮行会 中旬 鹿児島地協、 国分・南さつま・金峰 下旬 伊集院

令和5年度県本部役員改選審議資料（案）（調整中）

令和5年5月20日						
令和3・4年度役員				令和5・6年度役員（案）		
NO	役職名	氏名	担当	理由	役職名	氏名
1	会長	宮口 修一	会務全般	退任申し出	会長	兒玉 健二郎
2					総括副会長	木房 巧誠
3		木房 巧誠	総務・担滞	総括副会長	副会長 1 グループ長	松田 英久
4	所 長	川原 学	市民・防衛・広報	再任	副会長 2 グループ長	川原 学
5	副会長	兒玉健二郎	新隊等・親睦	会長	副会長 3 グループ長	小田 健治
6		宮ノ原 拡	事務局長	退任申し出	事務局長	徳田 純（隼人支部）
7	副会長	平田 辰雄	海自担当	退任申し出	海自担当	出井 一夫
8		小楠 功一	1 G P 総務・担滞	退任申し出	1 G P 総務・担滞	川久保 詩（鹿児島地協）
9		宮路 正人		再任		宮路 正人
10		福山 義久		退任申し出		濱田 和敏
11		柴村 敬二	2 G P 市民・防衛・広報・	再任	2 G P 市民・防衛・広報・	柴村 敬二
12		川井田 誠		再任		川井田 誠
13		松崎 早博		再任		松崎 早博
14	常 務	上世貫 昭		再任		上世貫 昭一
15	理事役	後村 勝義	3 G P 新隊等・親睦	再任	3 G P 新隊等・親睦	後村 勝義
16		小田 健治		副会長		
17		権山 一孝		再任		権山 一孝
18		畑中 誠		退任申し出		山下 要（鹿児島地協）
19		後藤 光一	事務局次長 （会 計）	再任	事務局次長 （総 務）	後藤 光一
20		古園 敏郎	（総 務）	再任	（会 務）	古園 敏郎
21		小濱 洋一	（会 務）		（新 聞）	小濱 洋一
22			（新 聞）			鬼塚 俊伸（鹿児島地協）
23		滝川 義弘	総務アドバイザー	再任	総務アドバイザー	滝川 義弘
24		谷口 千代	女性部長	退任申し出	女性部長	福丸 竜子
25		南上 晃子	女性副部長	再任	女性副部長	南上 晃子
26		出井 一夫	海自担当担当	副会長	海自担当副	
27	理事役	濱田 和敏	1GP特命事項	常務理事	1グループ長	
28		松田 英久				
29		勝吉 洋	2GP特命事項	再任	2GP特命事項	勝吉 洋
30		恒吉 勝彦	3GP特命事項	退任申し出	3GP特命事項	神崎 一斎（国分支部）
31		南上 晃子		再任		南上 晃子
32		福丸 竜子		再任		福丸 竜子
33		川内 省子	総務アドバイザー	再任	総務アドバイザー	川内 省子
34	隊友	春田 博明	探業員	再任	探業員	春田 博明
35	さつま	榎柑山洋一	探業委員	再任	探業委員	榎柑山洋一
36	・新聞	永田 真一	探業委員	再任	探業委員	永田 真一
37	担当	肥後 秀一	探業委員	再任	探業委員	肥後 秀一
38	監事役	肥後 秀一	業務執行監査	再任	業務執行 監査	肥後 秀一
39		山口 高志		再任		山口 高志
					事務局業務 補佐	宮ノ原 拡 (令和5年12月まで)



隊友会歌

「ああこの血潮」

作詞 鈴木 井（きよし）
作曲 吉岡 裕市

一

ああこの血潮 この生命
うけたはるかな 故郷に
幸あれと 肩くみて
呼べば答える 山脈の
雲は流れる 陽がのぼる

二

桜も咲けば 菊も咲く
みどりに映える 山河に
そびえる富士を 仰ぎ見て
手に手をとつて 行く道に
はばたく鳩が 共に舞う

三

南と北の 島々に
新たな息吹 あがるとき
おれとお前の 隊友が
船出の歌を 高らかに
歌えば四方の 波静か

